

始



14.21

1041

大正九年度業務功程報告
大正十年度計劃事業方法

103
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27
28 29 30 31 32 33
34 35 36 37 38 39
30m 1 2 3 4 5

大正十年五月(臨時報告)

大正九年度業務功程報告
大正十年度計劃事業方法

岡山縣水產試驗場

142-1041

目 次

一、大正九年度業務功程

試驗船ノ新造

朝鮮海鰐流網漁業試驗

流水養魚委託試驗

養魚餌料比較試驗

牡蠣養殖試驗

真牡蠣養殖
住ノ江牡蠣採苗養殖

淡水魚族人工孵化放流試驗

鯉人工孵化放流

築礎飼付漁業調查

一般調查、藻貝採苗調查

淺海利用調查

海藻繁殖調查

海洋觀測

一 二 三 四 六 八 〇 三 五



一、大正十年度計劃事業

朝鮮海漁業指導試驗

南海出漁試驗

築礮漁業指導試驗

淺海利用調查一般調査、藻貝採苗調査、重要魚族調査

海洋觀測

淡水養魚委託試驗

牡蠣養殖試驗牡蠣養成、生江牡蠣養殖採苗

淡水魚族人工孵化放流試驗鮎人工孵化放流

講習講話其他

五八七七八五五五



大正九年度業務功程

一、試驗船ノ新造

縣内ニ於テハ漁業ノ改善整理并ニ水族ノ蕃殖保護上必要ナル諸般ノ調査及試驗指導ヲ主トシ縣外ニ對シテハ朝鮮海其他ノ外海ニ向ケテ縣民出漁上ノ試驗指導ニ從事セシメンガ爲メ本年度始メテ試驗船新造ノ議成リ大正九年十一月一日縣下邑久郡牛窓町竹内甚太郎ニ其造船方々命シ越ヘテ翌年一月十九日無事竣工進水シタリ本船ハ船型ノ日本型漁船ニ範リタルモ其各部ノ構造ハ洋式ニ準據シ肋骨、梁、梁受材及ヒ甲板等ノ構成ニ可及的完全ヲ期セリ船体ハ全部木造ニシテ總長五十五尺五寸、船幅十尺、船深四尺三寸五分總噸數十三噸三ヲ算シ之ニ日本鐵工所製上下裝置機付十五馬力輕油發動機ヲ据付ケタリ而シテ右海上試運轉ノ結果ハ最高速力七浬八分、最高回轉數四百十

輕油消費量一時間ニ付三舛弱ニシテ豫期以上ノ好成績ヲ得タリ尙同船ハ進水後年度内事業タル淺海利用調査及海洋觀測等ノ爲メ使用シ更ニ次年度ヨリハ朝鮮海其他ノ外海漁業試験並ニ内海諸般ノ業務ニ從事スル豫定ナリ

一、朝鮮海鰈流網漁業試験

本試験ハ前年度ノ繼續事業ニシテ全様ノ趣旨方法ノ下ニ本縣移住漁民ニ對スル指導上ノ資料ヲ得テ益々其發達ヲ助長セント欲シ大正九年四月三七日ヨリ六月十三日迄約一ヶ月半漁夫三名乗組ノ漁船ヲ以テ流網四百尋分ヲ使用シ主トシテ移住根據地附近ナル全羅南道海南郡沿海ニ於テ試験ヲ行ヒタルガ試験開始ノ時ハ既ニ盛漁期ニ入りタルガ爲メ五月十五日頃迄ハ非常ノ豊漁ナリシガ其以後ハ魚群ノ北上ト共ニ漸次漁獲減少シ加フルニ天候ノ順調ヲ欠キシ爲メ六月ニ入りテ以來該漁場ハ一般ニ薄漁ヲ以テ終レリ

右試験ノ結果漁獲高ニ於テハ出漁、二十九日間ニ於テ餌及餌三千七百餘尾、此收入六百二十三圓餘ヲ擧ゲ諸経費ヲ控除シタル利益金二百七十三圓餘ヲ得タリ之ヲ前年ト比較スルニ試験期間ノ短カ・リシ爲ズ總漁獲高ニ於テハ減額シタリト雖モ其出漁日數ニ對比スル一日ノ平均漁獲高ハ前年度ノ十六圓七十錢餘ナルニ對シ本年度ハ二十一圓五十錢餘ヲ示シ其漁獲成績ハ遙カニ良好ナリキ。

而シテ試験漁網ノ構造ニ就テハ前年度ノ經驗ニ徴シ本年度ハ網糸及網目ノ改良ヲ行ヒ且ツ浮力ノ關係ヲ考慮シタル結果殆ンド完全ニ近ツキタルヲ信ス又漁場關係ニ對シテハ昨年來調査シタル場所ハ既ニ本年度ヲ以テ大体實質其他ノ調査ヲ完結シタルヲ以テ次年度ヨリハ更ニ其擴張ヲ圖ルヘク接續海區タル珍島近海ニ向ツテ調查ヲ進メント欲ス殊ニ本年度ヨリハ移住漁民中ニモ一隻ノ雙流網起業者アリ其他鮪鯖兼漁ノ流網從漁者ガ移^民並ニ通漁者中ニ激増

シタル結果自然該漁場ノ狹隘ヲ感ズルニ至ルベキヲ以テ將來益々
以テ之ガ漁場ノ探險擴張ヲ必要ナリト認ムルモノナリ
尙全地方ニ於テ最モ不便不利ヲ感ズルハ漁獲物ノ處理運搬設備ノ
不完全ナルニアリ次年度ニ於テハ此点ニ關シテモ可及的指導補助
ノ方法ヲ講ジ其發達ヲ助成セント欲ス

一、流水養魚委託試驗

本試驗ハ育水潤澤ナル地方ニ於ケル流水養魚ノ模範ヲ示シ其發達
普及フ圖ランガ爲メ前年度ニ繼承シ上房郡有漢村金岡助九郎秋葉
佐登藏ニ委託養池三百五十四坪ヲ充用シテ養鯉試驗ヲ施行セリ全
池ハ從來經營困難ナリシ處前々年度來專任看守人ヲ置キ銳意投餌
方法魚苗ノ供給其他養魚經營上諸般ノ点ニ付キ改善ニ努メタル結
果漸ク經濟的曙光ヲ認ムルニ至レリ今其概況ヲ示サンニ前年度繩
越魚六十三貫七百八十匁ヲ放養シ尙魚苗ハ至廉ニ且ツ豊富ニ得ル

目的ヲ以テ本養魚池ノ一部ニ於テ全場養成ノ親魚ヨリ採卵孵化ヲ
行ヒ是ヲ一二匁ニ養成シタル後其成長ノ迅速ヲ期スル爲メ之ヲ附
近ノ農家ニ配布シ晚夏稻田ノ落水期ニ到リ漸次回収ヲ行ヒ回収總
尾數千四百六十八尾十七貫四百五十匁ニ及ベリ爾來田螺、干蛹、麥糠
等ヲ給餌シ生長ヲ圖リ池浚迄ニ百七十一貫二百四十四匁ノ生産ヲ
舉ゲ當歲鯉ハ放養當時ヨリ池浚迄ニ增肉量ハ放養量ノ二倍三分ニ
達シ繩越魚ハ二倍二分ノ生長ヲ示シ比較的成績良好ナルヲ得タリ
而シテ繩越魚ノ中七十六貫七百七十匁ヲ賣却シ當歲魚及二年魚ノ
一部ハ次年度ニ繩越飼育シツ、アリ
本事業ハ前述ノ如ク兩三年前ヨリ其改善整理ニ着手シツ、アルモ
種々經營困難ナル点アリシ爲メ成績良好ナラザリシモ漸次當業者
ノ技術モ圓熟シ相當生產量ヲ舉グルニ至リ次第ニ自立ノ基礎ヲ樹
ツルニ至ルハ喜ブベシ

一、養魚餌料比較試験

本試験ハ前年度ニ繼承シ各種餌料ニ就キ養魚ノ增肉率ヲ査定シ經濟的ニ之レガ使用法ヲ研究スルヲ目的トシ上房郡有漢村本場委托試験池ノ一部ニ於テ本年度ハ生蚕蛹ニ就キ試験ヲ爲セリ而シテ供試種鰻ハ良好ナルヲ撰定スルノ要アルヲ以テ兒島郡八濱町地先ニテ採捕セルモノ七貫二百卅二匁、千〇五十八尾ヲ五月廿八日放養シ爾來其餌付ヲ良好ナラシムル爲メ四、五、六ノ三ヶ月間ニ塩漬鯛、田螺等ヲ給與シ生蚕蛹ハ五月ヨリ十月下旬迄ニ夫々時期ニ應ジ適量ヲ給餌シタルガ其結果放養當時一尾平均重量七匁ノモノ池浚當時ニ至リ平均約十四匁ニ達シ個体トシテノ生長度良好ナルヲ示セリ而シテ大正七年度並ニ八年度ニ於ケル乾蚕蛹ニ依ル試験ノ結果ハ初年分ノ生長度ハ一、三倍次年度ハ一、九倍ヲ示シタルヲ以テ之ヲ本年度生蚕蛹ニ依ルモノト比較對照スル時ハ初年分ノ生長度ニ對シ

一、五倍弱ノ數字ヲ得益々生蚕蛹ノ乾蚕蛹ニ比シ優秀ナルヲ確メタリ尙詳細ノ事項ニ至リテハ之ヲ後日發行ノ事業報告書ニ譲ル

一、牡蠣養殖試験

本試験ハ住ノ江牡蠣ト真牡蠣トノ二項ニ分チ試験セルガ前者ハ縣下ニ於テ該種ノ蕃殖普及ヲ圖リ全時ニ採苗飼育ノ方法ヲ攻究セントシ後者ハ本縣產牡蠣ノ品位形態ヲ改良シ其聲價ヲ高メントスルニアリテ兒島灣内箇ヶ瀬川口本場養殖試験地並ニ和氣郡伊里村伊里川口ニ於テ前年度ニ繼承施行セリ

住ノ江牡蠣採苗試験ハ從來ノ經驗ニ依レバ兒島灣内從來ノ場所ニテハ良好ナラザルガ如キ觀アルヲ以テ和氣郡伊里村伊里川口ニテ施行スルコト、ナシ六月十四日母貝ヲ兒島灣内本場養蠣場ヨリ二十一石一斗ヲ該地ニ移植セリ而シテ稚貝附着材料ハ瓦ヲ使用スルコト、ナシ全月二十三日迄ニ石灰乳劑ヲ塗抹シ六月二十五日採苗

器ノ建込ヲナセリ其後ノ着生状態ハ稍良好ナルガ如シ
眞牡蠣ニ對シテハ前年同様佛國式瓦附着器ヲ使用シ石灰乳劑ハ前
年同様ノ割合ニ石灰及細砂ヲ混ジタルモノヲ用ヒ六月六日塗抹作
業ヲ了シ六月三十日採苗裝置ヲ了セリ是ヨリ先實入試驗ヲ行フ爲
メ候補地ヲ調査ノ上淺口郡玉島町地先玉島港口ニ索メ五月十五六
兩日前年ノ稚貝脫離作業ヲ爲シ稚貝約二斗ヲ前記實入場ニ移植セ
リ以上ノ成績ニ就テハ次年度早々精査ノ上發表セントス

一、淡水魚族人工孵化放流試驗

本試驗ハ比年減退シツ、アル本縣重要淡水魚タル鯰及鮎ノ蕃殖ヲ
挽回保護シ其生産ノ増進ヲ圖ルノ目的ノ下ニ前年度ニ繼承シ吉井
川並ニ旭川流域ニ於テ孵化放流試驗ヲ施行セリ

イ、鮎人工孵化放流試驗

從來本試驗ハ吉井川流域ニ於テ引續キ施行シ來タレルモ本年度ヨ

ハ旭川流域ニ於テ施行スルコト、ナシ十月早々孵化場ノ位置ノ調
査ヲ行ヒ十月四日該場ヲ全川流域タル赤磐郡西高月村牛佐ニ定メ
全月八日孵化設備ヲ終了セリ爾來親魚ノ採捕ニ努ムルコト數回ニ
及ブモ卵ノ適度ニ成熟セルモノ乏シク採卵スルニ至ラズ止ムナク
吉井川下流鮎產卵場タル上道郡御休村一日市地先禁漁場内ニテ親
魚捕獲ヲナシ採卵後あつときんす氏孵化盆ヲ河水用孵化槽ニ配合
セルモノニ收容シ發眼後之レヲ旭川ナル牛佐ニ運搬セリ本年ハ上
述ノ理由ニテ採卵盛期ヲ經過セルタメ豫定ノ採卵ヲナスニ至ラズ
僅ニ二百卅八万粒ニ止マリテ此ノ仔魚二百十五万尾ヲ放流セリ爾
來全川ニ於ケル成績ニ關シテハ事創始ニ係リ未ダ之ヲ知ルヲ得ズ

ロ、鮎人工孵化放流試驗
孵化場ヲ吉井川上流加茂川ニ沿ヘル苦田郡上加茂村知和内田龍平
所有地内ニ設置セリ從來鮎卵ヲ滋賀縣ヨリ供給ヲ仰グモ豫定卵數

ノ購入困難ナル爲メ秋田縣十和田湖並ニ群馬縣丸沼產姫鱒卵ヲ以テ補充ヲナス計畫ナリシモ何レモ購入ノ運ビニ至ラズ止ム無ク宗谷藤野養魚場ヨリ四万粒並ニ滋賀縣水產試驗場知内孵化場ヨリ四万粒ヲ購入ノ上試驗ニ着手セリ前者ハ十月三十日採卵十一月二十日發眼セルモノニシテ後者ハ十一月十二日採卵全月三十日發眼セルモノナリ前者ハ荷造不良ノ爲ナルカ運搬中ノ死卵比較的多カリシモ後者ハ歩減少ナク僅カニ四分四厘強ニ過ギザリキ爾來豫定ノ孵化成育ヲ遂ゲタルモ從來ノ餌料ヲ得ルコト困難ナリシタメ稍發育遲延シ且ツ宗谷藤野養魚場ニテ採卵セルモノ著シク死滅セルタメ早ク放流スル方針トシ大正十年四月十九日ニ至リ舟山川上流及加茂川ニ三万尾ノ放流ヲナセリ

一、築磯飼付漁業調査

本縣ノ如キ内海ニ面スル地方ハ特ニ蕃殖保護ヲ基礎トセル漁業ヲ

獎勵發達セシメ以テ内海漁利漸減ノ緩和ニ努ムベキナリ此意味ニ於テ築磯飼付漁業ハ瀬戸内海ニ於ケル最モ適切ナル一事業タルヲ認メ其ノ未ダ本縣ニ無之ヲ遺憾トシ本年度ヨリ開始シタルモノニシテ一面又窮迫セル本縣漁業界革新ノ爲メ如此意義アル模範的漁業ノ發達ヲ促進スルノ趣旨ヲ以テ大正九年八月三十日始メテ小田郡真鍋島村日方間沖水深七尋ノ獨立砂洲ヲ選定シ仝村漁業組合ト協同施設ノ下ニ約二十噸内外ノ古船ニ割石約十一立坪及米麥糠赤メ魚類ノ誘集ヲ圖ルノ豫定ナリシガ折惡ク全貝採收ノ時期ヲ失シタル爲メ次年度早々實行スルコト、セリ而シテ爾後ノ漁獲ノ成績ハ地元漁民其他ノ釣獲高ニ依リテ從來ノ漁獲ト比較考查スルコトセシガ時恰カモ漁季ノ終末ニ迫リ全年度

中ニ其精確ナル結果ヲ知ルヲ得ザリシト雖モ大体ニ於テ其漁況ハ從來ニ比シ良好ノ経過ニ在リ依テ次年度ハ春漁季ヲ待テ具体的ノ比較調査ヲナサントス尙本事業ハ次年度以降引續キ縣下各地ニ瓦リ適當ノ箇處ヲ選定實施シ努メテ其發達ヲ圖ラント欲ス

一、淺海利用調査

本調査ハ養殖適地調査ヲ遂グ魚介藻類ノ蕃殖保護ヲ圖リ漁利ヲ永遠ニ維持シ漁村振興ノ實ヲ擧ゲントスルニアリテ前年全様ノ調査項目ノ下ニ本年新造試驗船ニ依リ邑久郡牛窓町地先及和氣郡片上灣ノ一部ニ付キ一般調査ヲ行ヒタルノ外更ニ下記ニ對シ具体的の實地研究ヲ爲シタリ

イ、藻貝採苗調査

本調査ハ前年度ノ繼續事業ニシテ種苗ノ供給不如意ノ爲縣下ニ於ケル藻貝養殖業ヲ阻害セルコト大ナルヲ以テ是レガ缺点ヲ補足セ

ント欲シ研究ヲ續行シ本年度ハ前年度ノ成績ニ鑑ミ淺口郡寄島町地先兒島郡本莊村地先邑久郡玉津村地先ノ三ヶ所ヲ撰定シ七月十四日ヨリ全十八日迄ニ附着材料トシテ棕梠皮、粗朶木竹等ヲ裝置セリ大正十年三月九日邑久郡玉津村地先ニ於テハ竹ニ棕梠皮ヲ巻キ付ケタルモノニハ泥面上三寸ヨリ九寸ノ間ニ般長一二分ノ稚貝一本ニ付キ一個乃至六個附着セルヲ認メタルモ粗朶木ニハ附着ヲ認メズ又寄島ニ於テモ同様棕梠皮ノ分着生著シク凡三十個ヲ認メ猶本莊村ニ於テモ略ボ玉津村ト同様ノ結果ヲ見タリ

ロ、布海苔蕃殖調査

布海苔ハ縣下和氣郡沿岸一帶ニ分布スト雖モ其產額極メテ微々タルモノニシテ僅カニ食用ニ供スルニ止マレルヲ以テ之ガ蕃殖ヲ圖リ其生産ヲ高メント欲シ前年度ニ繼承シ調査ヲ續行セリ調査地ハ和氣郡福河村寒河眞尾鼻ヲ距ル西方十二三町ノ地点ヲトシ前年度

ノ地域ト比較調査ヲナスコト、シ六月二十四日ヨリ全月三十日迄ニ投石ヲ爲シタリ調査地域ノ施設面積ハ巾二間長サ十五間ノ區域トナセリ之ハ昨年ノ天然ノ附着状態並ニ施設調査ノ結果ニ鑑ミ三間ハ稍廣キニ失シタル嫌アルヲ以テナリ施設材料ハ昨年全様從來該地方ニテ天然ノ附着比較的良好ナル石英粗面岩ト同様形質ニシテ重量十貫匁乃至三十貫匁位ノモノヲ使用シ坪當十六個位宛投入セリ之ガ經過ヲ十年三月十日調査セルニ本年度ノ施設區域ニハ該藻ノ着生ヲ視ルコト極メテ稀ニシテ前年度施設區域ニハ幼芽ノ着生稍見ルベキモノアルニ至レリサレド未ダ是ガ採取ノ域ニ達セズ惟フニ前年ノ不成績ハ施設時期ノ遲速ニモ起因セシナランモ胞子着生後ノ附着材料ニシテ一二年經過後ニアラザレバ幼芽ノ發育不充分ナルニハアラザルカ尙次年度ニ於テハ之等ノ点ニ留意シ調査ヲ續行セントス

一、海洋觀測

農商務省水產講習所並ニ關係各府縣水產試驗場トノ連絡事業トシテ毎年ノ繼續ニ係ル本縣ニ於テハ淺口郡青佐鼻ヨリ香川縣三豊郡三崎ニ到ル海面ニ於テ可成毎月一回ノ横斷觀測ヲ行フコト、ナセルガ本年度ハ他ノ事業トノ都合上五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月及ビ翌年三月ノ八回所定ノ觀測ヲ行ヒ特ニ三月ハ新造ノ試驗船ニテ之ヲ行ヒタリ而シテ其都度別ニ調査シタル漁況及浮游生物ト共ニ其結果ヲ水產講習所海洋調查部ニ報告シタリ

大正十年度計劃事業方法

一六

一、朝鮮海漁業指導試験

朝鮮海ニ於ケル本縣通漁者并ニ移住漁民指導啓發ノ爲メ前年度來ノ繼續事業タル鯛流網漁業試験ヲ全羅南道海南郡沖合ニ於テ行ヒ益々移民起業ノ發達助長ヲ圖ルト共ニ新漁場ノ探險擴張ヲナサント欲シ傍ラ全近海ノ底棲物ニ對シ漕網ヲ使用シ調査セントス船シテ右試験ノ方法ハ前年ト全様彼地移住漁民ヲシテ勞力ヲ提供シシムル共同試験トナシ其漁獲收入金ヲ適當ナル計算ノ下ニ双方分配スルノ方法ヲ採リ本年四月以降約三箇月間吉備村ヲ根據トシ主トシテ新造試験船ヲ以テ施行セントス

一、南海出漁試験

瀬戸内海ニ於テ行詰マレル過剩漁民發展ノ一方面トシテ新タニ紀

州、土佐海漁場ニ縣民開拓ノ余地尠カラザルベキヲ認メ新造試験船ヲ使用シ先づ本年度ハ鮪延繩漁業及ビ深海ニ於ケル底魚延繩漁業ノ調査ヲ試ミント欲シ内海漁業冬枯レノ時季タル一月及ビ二月ノ兩月間之ヲ行ハントス

一、築磯漁業指導試験

縣外ノ發展獎勵ト相俟テ一面亦縣内漁業ノ改善整理并ニ水族ノ蕃殖保護又ハ利用養殖ノ緊喫事タルヲ信ジ前年來ノ繼續事業タル淺海利用調査ト共ニ築磯漁業試験ヲ略々前年同様ノ方法ヲ以テ適當ノ箇所ヲ選定シ地元關係漁業組合ト協同施設セントシ旁ラ他ノ希望組合ノ爲メ場所ノ選定及施設上ノ導指ヲナサント欲ス

一、淺海利用調査

前段全様ノ趣旨ニ基キ前年度ニ引續キ養殖適地調査并ニ魚介藻類ノ蕃殖保護上必要ナル研究調査ヲ行ヒ且ツ之レガ實地指導上ノ施

一七

設ヲモナサントシ本年度ニ於テハ邑久兒島兩郡沿岸ノ一般調査并ニ海蘿蕃殖調査藻貝採苗調査ヲ續行シ新タニ、藻場ニ關スル調査ト重要魚族廻游漁況調査ヲ開始セント欲ス右調査ニハ主トシテ新造試験船ヲ供用シ隨時適當ノ時期ニ於テ行フモノトス

一、海洋觀測

農商務省并ニ府縣連絡ノ繼續事業ニシテ本縣ニテハ淺口郡青佐鼻ト香川縣三崎間ニ於ケル毎月一回ノ横斷觀測ヲ擔當シ本年度ヨリハ主トシテ新造試験船ヲ供用シ全船不在ノ場合ニノミ備船施行セント欲ス

一、淡水養魚委托試驗

本試験ハ淡水養魚ノ發達普及ヲ目的トシ就中山間部ニ於ケル流水養魚啓發ノ爲メ前年度ニ引續キ上房郡有漢村養魚場ニ委托シ主トシテ養鯉ニ就キ試験シ併テ養魚餌料ニ關スル研究ヲナサント欲ス

一、牡蠣養殖試驗

前年度ニ繼承シ其真牡蠣ニ對シテハ品位形態ノ改良ヲ目的トスル實入試験ヲ淺口郡乙島ニ於テシ又住ノ江牡蠣ニ對シテハ其採苗并ニ移植試験ヲ兒島灣内及ビ和氣郡伊里村地先ニ於テ行ハント欲ス

一、淡水魚族人工孵化放流試驗

本事業ハ河川ノ生產保護增進ヲ目的トシ鱈及鮎ニ就キ年來繼續施行中ニ係リ本年度ニ於テモ鱈卵約三十萬粒ハ滋賀縣其他ニ需メ吉井川上流ナル苦田郡上加茂村ニ於テ孵化放流ヲ行ヒ又鮎ニ對シテハ吉井川產ノ親魚ヨリ約五百万粒ヲ直接採卵シ之ヲ旭川禁漁場タル岡山市ニ於テ孵化放流セント欲ス

一、講習講話並ニ實地指導

水產業ニ關スル講習講話ハ可及的場務操合ノ上隨時適當ノ地ニ於テ行ハント欲シ又實地指導ハ漁具漁船ノ設計其他養殖業ノ計畫經

營并ニ鯉兒配布等ニ就キ努メテ民間ノ希望ニ副ハント欲ス
一、雜試験并ニ調査
豫定セザル事業ニシテ臨時必要ノ場合ニ豫算ノ範圍内ヲ以テ之ヲ
行ハント欲ス

大正拾年五月三十日印刷

(非賣品)

大正拾年五月卅一日發行

岡山縣水產試驗場

岡山市仁王町六六番地

印刷人 小寺廣平

全所全番地

印刷所 三友舍活版所

終

